

地域県土警察常任委員会資料

(令和5年11月30日)

ページ

- 「鳥取県中山間地域振興行動指針」の改訂について
【人口減少社会対策課】・・・2
- 令和5年度上半期の鳥取県への移住者数について
【人口減少社会対策課】・・・3
- 令和4年度末 本県出身大学生等の県内就職状況等について
【人口減少社会対策課】・・・4
- とっとりまるごと移住カーニバル！2023の開催結果について
【人口減少社会対策課】・・・5
- トスク・Aコープ閉店等に伴う買物環境確保対策の状況等について
【買物環境確保推進課】・・・6
- 公共交通のドライバー確保に向けた取組について
【交通政策課】・・・7
- 日本サウナ学会総会2023・「ととのうとっとり」サウナフェス開催結果
【観光戦略課】・・・8
- 国際航空路線の最近の動きについて
【国際観光・万博課】・・・9
- 韓国江原特別自治道との交流状況について
【交流推進課】・・・10
- 米国バーモント州との姉妹提携5周年記念行事及び「食パラダイス鳥取県 in NY」
の開催等
【交流推進課】・・・12
- イスラエルから避難された御家族の状況等について
【交流推進課】・・・14
- ジャマイカ選手団のキャンプ実施に係る覚書締結及び同国との交流協議について
【国際観光・万博課、交流推進課】・・・15
- 「スーパーはくと名探偵コナン号」の運行開始について
【交通政策課、まんが王国官房】・・・16
- 調布市「ゲゲゲ忌」における情報発信について
【まんが王国官房】・・・17

輝く鳥取創造本部

「鳥取県中山間地域振興行動指針」の改訂について

令和5年11月30日

人口減少社会対策課

「鳥取県みんなで取り組む中山間地域振興条例」に基づき策定している「鳥取県中山間地域振興行動指針」について、現行の行動指針を1年前倒して改訂することとし、以下のような骨子での改訂を検討しています。

1 改訂の背景

- ・進展する人口減少・少子高齢化を背景に、JA生活店舗（トスク・Aコープ）の閉店による地域の買物環境の維持・確保など、中山間地域が抱える諸課題が表面化・深刻化。
- ・一方、コロナ禍を経て、テレワークの普及や地方への移住・定住の関心の高まりなど、新たに生まれた都市部から地方へ人の流れを捉える好機。

⇒上記のような中山間地域に関わる社会情勢の大きな変化を踏まえ、喫緊の諸課題に行政、地域、企業・団体等が一丸となって迅速に対応し、持続可能な鳥取型の中山間地域振興を実現するため、改訂による新たな行動指針を策定します。

2 改訂の方針

- (1) 計画期間は現行の行動指針期間（令和2～6年度）を1年前倒し、令和6～9年度の4ヵ年（県版総合戦略と同じ期間）とする。
- (2) 中山間地域の振興の新たな潮流として「デジタル技術の利活用」、「ポストコロナの新たな価値観・人の流れ」を記載する。
- (3) 「買物」、「交通」、「医療・福祉」、「子育て・教育」、「農林水産」、「産業振興」等、解決すべき重要課題（生活基盤確保）に対して施策の方向性を示すなど、中山間地域に関係する施策について体系的に呈示する。

I 豊かな『環境づくり』

- 1 安心して暮らすことのできる定住環境の確保・充実
（買物、交通、医療・福祉、見守り等）
- 2 災害に強く安全な地域づくり
- 3 都市部との共生、公益的機能の維持

II 輝く『人づくり』

- 4 集落機能の維持、担い手の確保・育成
- 5 移住の推進、関係人口の創出など新たな人の流れの創出
- 6 子育て環境・教育の充実、郷土愛の醸成
- 7 伝統行事、伝統文化等の維持・継承

III 活力ある『仕事づくり』

- 8 持続可能な農林水産業の確立
- 9 地域の特色を活かした事業承継、新たなビジネスの創出
- 10 地域資源を活かした交流、魅力ある観光コンテンツづくり

令和5年度上半期の鳥取県への移住者数について

令和5年11月30日

人口減少社会対策課

令和5年度上半期(4月～9月)の本県への移住者数は722世帯1,002人で、初めて1,000人を超えました。昨年度より37世帯56人増加し、上半期では過去最多となりました。

今後は、東京、大阪で開催する本県主催の大型イベント「とっとり就職&移住BIG相談会」などを通じて移住希望者一人一人のニーズに応じたきめ細やかな支援を行うとともに、若者目線による本県の強みや魅力を都市部の若者に効果的な方法で発信するほか、デジタルを活用した鳥取と関わる機会の創出等を行い、引き続き年間3,000人の移住者を受け入れることを目標に移住促進を図っていきます。

〔 ※とっとり就職&移住BIG相談会:【東京会場】令和6年1月14日(日) 東京交通会館
【大阪会場】令和6年2月10日(土) AP大阪茶屋町 〕

○市町村別移住者数等

市町村名	令和5年度上半期(A)		参考			
			令和4年度上半期(B)		増減(A-B)	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
鳥取市	158	219	130	188	28	31
米子市	107	181	98	163	9	18
倉吉市	85	122	92	123	△7	△1
境港市	76	99	84	120	△8	△21
岩美町	40	43	32	42	8	1
若桜町	10	11	8	9	2	2
智頭町	4	7	4	7	0	0
八頭町	13	23	11	15	2	8
三朝町	10	16	16	19	△6	△3
湯梨浜町	24	34	43	50	△19	△16
琴浦町	72	87	58	69	14	18
北栄町	22	27	22	30	0	△3
日吉津村	11	13	7	8	4	5
大山町	16	20	8	9	8	11
南部町	30	46	36	45	△6	1
伯耆町	14	19	11	13	3	6
日南町	13	16	9	16	4	0
日野町	15	17	15	19	0	△2
江府町	2	2	1	1	1	1
合計	722	1,002	685	946	37	56

【参考】平成27年度からの本県への移住状況

年度	人数		
	上半期	下半期	年間
平成27年度	909	1,043	1,952
平成28年度	916	1,106	2,022
平成29年度	933	1,194	2,127
平成30年度	954	1,203	2,157
令和元年度	984	1,185	2,169
令和2年度	856	1,280	2,136
令和3年度	919	1,449	2,368
令和4年度	946	1,157	2,103
令和5年度	1,002		

令和4年度末 本県出身大学生等の県内就職状況等について

令和5年11月30日
人口減少社会対策課

令和5年3月に卒業した本県出身大学生等の県内就職状況について、県内・県外大学等に調査を行った結果は次のとおりでした。

【結果概要】

1 県内大学等卒業生の県内就職率は29.1%（前年比-2.2%）

…理系学生の県内就職者数減少が全体の数字を押し下げた一方、公立鳥取環境大学では県内就職者数（52人）が卒業生における県内出身者数（42人）を上回るなど、県外からの進学者の県内就職が増加した。

⇒今後、理系学生を対象とした就職相談会の実施など、調査結果に基づく対策を実施する。

2 県外大学等に進学した本県出身者のUターン就職率は38.6%（前年比+0.7%）

…中四国からのUターン就職が増えたことから、前年度に比べて微増となり、コロナ前（H31）と比べても高い水準を維持している。

⇒都市部の大学は近県（中四国圏）の大学と比べUターン就職率が低い傾向にあるため、本県出身者が多い私立大学と就職支援協定を締結するなど、各大学等との一層の連携を図り、学生に対する新たなアプローチの検討、学生に届く情報発信など、きめ細やかなUターン就職支援を行っていく。

（1）県内大学等卒業生の県内就職状況

	就 職 者(A)					卒 業 者(C)							
	うち県内就職(B)		うち県内出身		比 率(B/A)		うち県内出身(D)		比 率(D/C)				
鳥取大学	922	(906)	160	(173)	83	17.4%	(19.1%)	1,421	(1,433)	184	(210)	12.9%	(14.7%)
公立鳥取環境大学	232	(212)	52	(35)	25	22.4%	(16.5%)	270	(257)	42	(40)	15.6%	(15.6%)
鳥取看護大学	70	(80)	48	(64)	46	68.6%	(80.0%)	73	(82)	55	(67)	75.3%	(81.7%)
鳥取短期大学	221	(239)	180	(200)	173	81.4%	(83.7%)	256	(279)	224	(246)	87.5%	(88.2%)
米子工業高等専門学校	146	(149)	23	(25)	22	15.8%	(16.8%)	207	(226)	166	(196)	80.2%	(86.7%)
合計	1,591	(1,586)	463	(497)	349	29.1%	(31.3%)	2,227	(2,277)	671	(759)	30.1%	(33.3%)

※（ ）内は前年数値。鳥取大学と鳥取環境大学は大学院（修士課程）含む。

<概要>

- ・鳥取大学の県内就職率は17.4%（前年比-1.7%）
- ・公立鳥取環境大学の県内就職率は22.4%（前年比+5.9%）

（2）本県出身の県外大学等卒業生の県内就職状況

卒業年月	有効回答数	県内高校 出身者数 (A)	就職者数 (県内外含む) (B)	県内就職者数 (C)	就職者に占める県内就職率(C/B)		
					全体	男	女
R5.3	86校	1,155人	917人	354人	38.6%	35.1%	41.9%
R4.3	83校	1,125人	887人	336人	37.9%	35.7%	40.4%
R3.3	78校	1,057人	835人	336人	40.2%	39.5%	40.9%
R2.3	65校	968人	816人	324人	39.7%	37.5%	42.1%
H31.3	60校	960人	793人	282人	35.6%	32.5%	38.6%

（調査対象（R3.3卒以降）：上位100大学及びその他協定締結校）

（調査対象（R2.3卒以前）：上位50大学、関東15大学、関西10大学及びその他協定締結校）

<概要>

- ・地区別のUターン就職率は中四国圏49.7%、関西圏29.0%、九州圏23.8%、関東中部圏23.0%
- ・分野別では、文系31.9%、理系26.3%、医療・福祉43.2%、教育66.4%

とっとりまるごと移住カーニバル！2023の開催結果について

令和5年11月30日
人口減少社会対策課

IJU ターンを希望する首都圏在住者を対象に市町村や関係団体による移住相談や観光・文化の紹介、物産の販売等を通じて鳥取県を体感できる機会を提供し、鳥取県を移住先の選択肢として認識してもらうことにより鳥取県へのIJU ターンの促進を図ることを目的として、「とっとりまるごと移住カーニバル！2023」を開催しましたので報告します。

■ とっとりまるごと移住カーニバル！2023の概要

- 1 日時 令和5年11月12日（日）10:00～16:00
- 2 場所 東京交通会館12階カトレアサロンB（東京都千代田区有楽町2丁目10-1）
- 3 主催 鳥取県
- 4 共催 認定NPO法人ふるさと回帰支援センター、（公財）ふるさと鳥取県定住機構、出展市町
- 5 内容

（1）移住個別相談会（市町紹介ブース）

【出展数】20ブース（市町、移住相談、就職・学生就職相談、住宅相談、移住支援相談）

各相談ブースにて、IJU ターン希望者と面談を行い、市町の紹介や就業・物件情報について、支援制度も交えて説明しました。また、来場者が鳥取県に関心を持ち、足を運んでもらえるような市町の観光情報や地域の暮らしについても紹介しました。

（2）とっとりマルシェ（物産販売ブース）

【出展数】8市町（鳥取市、倉吉市、境港市、智頭町、三朝町、大山町、南部町、日野町）

市町や団体や地域おこし協力隊、とっとり暮らしアドバイザー等による地域の特産品の展示・販売を通じて、先輩移住者の移住ストーリーやその地域の特徴を紹介していただきました。

（3）とっとりまるごと体感フェス

鳥取県の伝統芸能を体感してもらうために、会場内でじゃんしゃん傘踊りの披露や鳥取の食を体感する企画を行いました。

（4）資料コーナー、ブースラリー企画

各市町の資料を持ち帰りできる資料コーナーを設置し、情報収集で資料希望のみの来場も可能としました。また、来場者が多くの市町で移住相談を行ってもらうため、3市町以上で相談をするくとじが引けるブースラリー企画を実施し、特賞として松葉ガニをプレゼントしました。

6 来場者数 103組139人

【来場者の声】

- ・どのスタッフさんもフレンドリーでお話しやすく楽しく過ごせました！関東近辺で引越しを考えてましたが、鳥取県等への移住も視野に入れようと思いました！
- ・アットホームな雰囲気ですいろいろな説明をして下さりありがとうございました。
- ・移住の良さは何もわからなかったけれど、前向きに移住を考えてみたいと思います。
- ・（ブースラリーで松葉ガニを獲得した方）鳥取県にも遊びに行きたいと思います。



（相談ブースの様子）



（鳥取の食について説明）



（ブースラリーで松葉ガニを獲得）

トスク・A コープ閉店等に伴う買物環境確保対策の状況等について

令和5年11月30日

買物環境確保推進課

トスク・A コープ閉店等に伴う承継や各市町の買物環境確保対策等の状況について次のとおり報告します。県では引き続き、市町や関係機関と連携をとりながら、買物環境の維持・確保に取り組んでいきます。

1 トスク・A コープ関係店舗の状況

項目	店舗(閉店日)	対応状況
承継	赤碕店(9/15)	東宝企業が東宝ストア赤碕店として10月6日オープン。
	生活センター竹田(9/29)	地域住民が「生活の窓口食味」として10月29日オープン。
	若桜店(9/30)	エスマートが「エスマートわかさ店」として11月28日オープン。
	ちづ店(9/30)	エスマートが「エスマートちづ店」として12月中旬頃にオープン予定。
承継交渉中	用瀬店(9/30)、丹比店(9/30)	複数企業と交渉中。
	トピア店(R6.3/26)	東宝企業と承継に向けて協議中。
	みぞくち店、名和店(R6.1.15) 大高店、よどえ店(R6.1.22)	店舗の承継を希望する企業との交渉を進めている。
現時点で承継予定無し	河原店(7/31)、ふなおか店(7/31)、フレッシュライフいわみ(9/30)、せきがね店(9/26)、下北条店(9/29)、ポプラJA山守店(9/30)、ポプラJA三徳店(9/30)	
その他	本店(9/30)	R6.6以降解体予定
	吉成店(9/30)	エスマートに売却済。

2 買物環境確保に向けた市町の主な取組

【鳥取市】 トスク用瀬店閉店に伴い、共助交通「いきいき社バス」及び「さじ未来号」が河原町のスーパーまで運行延伸。既存移動販売業者による運行便数の増加。

【岩美町】 町営バスのルート変更等による「買物便」の増便。10月24日より地元企業がトスクが行っていた移動販売を引継ぎ、店舗に隣接する「道の駅」活性化に向けた検討を行うためのコンサル委託。

【若桜町】 10月16日より地元業者による移動販売を開始しているが今後は奥部を中心にエリアを絞って継続実施。

【智頭町】 町内店舗への既存のAI乗合タクシー（のりりん）による買物利用。

【八頭町】 トスク丹比店の閉店に伴い最寄店舗への買物送迎バス運行を運行中。町役場八東支所の駐車場にて既存移動販売事業者が毎週土曜日に販売。

【倉吉市(関金)】 関金地区振興協議会による買物バスツアー、買物代行サービスを実施。同協議会が蒜山の「みかもストア」を誘致。市関金庁舎を活用した行政・地域住民・事業者一体となった運営を行う。

【北栄町】 町内他店舗への移動支援として、閉店したAコープ下北条店エリアの住民を対象に、町内一律300円で乗車できるタクシーチケットを追加配布。

【大山町】 既存デマンドバスの買物利用の際の優遇措置（買物利用者について一律500円）を検討。

【米子市】 県内IT企業を中心となり、インターネットを活用したスーパー商品の宅配サービスの実証を米子市内3地区（明道地域、県地域、尚徳地域）で実施。（R6.1末まで）

【江府町】 町事業として、道の駅奥大山前の国道を挟んだ向かいの場所に移住促進住宅と商業施設を一体整備する計画があり、そこに町内唯一のスーパーを新築移転する予定。

3 その他

中山間地域を中心に買物環境の維持・確保は全国的な課題であるため、「買物環境の維持・確保に向けた新たな支援制度の創設について」として国要望を実施。

<令和5年11月8日 自見はなこ内閣府特命担当大臣へ要望>

自見大臣より、鳥取県の現状と各市町の買物環境確保対策、さらには支援制度（買物環境確保推進交付金）も勉強しながら、政府としても国の既存事業の点検から始めてみたいと発言があった。

公共交通のドライバー確保に向けた取組について

令和5年11月30日 交通政策課

バス・タクシーのドライバーがコロナ前と比べて1～2割減少する中、公共交通を維持していくため、今年度、以下のとおりドライバー確保に向けた事業を強化して実施しています。これらの取組により県内タクシー事業者では11月時点で40名以上の採用につながっており、その一部には10名以上の採用を行っている事業者もみられます。ただし、ドライバー確保に改善は見られているものの、全体としてはコロナ前までには戻っていない状況にあるため、今後も引き続きドライバー確保に向けた取組を続けていきます。

1 バス運転手専門の就職・転職支援求人サイト「どらなび」を活用し、移住を含めた求人の支援[バス]

(1) 鳥取県バス運転手求人特集ページの設置

どらなびサイト内に「鳥取県バス運転手求人特集ページ」を設置し、鳥取県の公共交通の状況や移住に係る基礎知識、バス会社の求人等を紹介している。

設置期間：令和5年6月～令和6年2月末まで



(2) 鳥取県バス営業所見学会の開催

どらなびサイトを通じて、県内外から募集した県内就職希望者等を対象に、バス営業所見学会を開催し、会社説明や普段なかなか見られない営業所の見学、バス運転体験や現役ドライバーとの座談会等を開催した。

日時 令和5年9月2日(土) 12時30分～16時30分

場所 日本交通鳥取本社営業所(鳥取市雲山219番地)

参加者数 7名(20代～50代の男性)

参加者の出身地 鳥取1名、広島1名、兵庫2名、大阪2名、京都1名



(3) バス運転手専門の就職イベント「どらなび EXP02023 秋」への出展

路線バス事業者2社及びふるさと鳥取県定住機構とともに、都市部で行われたイベントに鳥取県ブースを出展し、来場者に対して、バス会社の会社紹介や移住に係る相談対応などを実施した。

<関西会場>

日時 令和5年9月30日(土) 11時30分～17時30分

場所 ハービスホール(大阪市北区梅田2-5-25ハービス OSAKA 地下2階)

ブース来訪者数(相談対応数) 2社合わせて19件

<東京会場>

日時 令和5年10月28日(土) 11時30分～17時30分

場所 新宿エルタワー(東京都新宿区西新宿1-6-1)

ブース来訪者数(相談対応数) 2社合わせて14件



2 採用力の強化に向けた支援[タクシー]

鳥取商工会議所、鳥取県ハイヤータクシー協会と連携して、タクシー事業の若手経営者等を対象に開催している経営塾において、今年度はドライバー確保に重点を置き、広告求人の専門家による講演や、求人広告づくりのポイントなどを学ぶワークショップを実施した。

講師：(一社)求人広告ライター協会 代表理事 関根コウ氏

開催日：令和5年6月14日、7月10日、8月28日



3 二種免許取得費用等補助[バス・タクシー]

バス・タクシー事業者に対して、ドライバーに必要な二種免許を取得する経費、新規採用や広報に係る経費等を支援している。(令和4年12月補正予算 公共交通ドライバー確保緊急支援事業)

- ・補助事業者：鳥取県バス協会、鳥取県ハイヤータクシー協会
- ・補助率：二種免許取得費等採用に係る経費の3分の2(協会を通じて各事業者を支援)
- ・補助額(交付決定額)：バス協会6,000千円、ハイヤータクシー協会13,000千円
- ・申請状況(11月1日現在時点)：バス事業者14名、タクシー事業者30名

日本サウナ学会総会2023・「ととのうとっとり」サウナフェス開催結果

令和5年11月30日
観光戦略課

全国に向けて本県のサウナの魅力を発信し、「ととのうとっとり」サウナツーリズムのさらなる知名度向上に向けて、日本サウナ学会総会2023及び「ととのうとっとり」サウナフェスを開催しました。

【日本サウナ学会総会2023の概要】

開催日：令和5年11月25日（土）（開催時間：15時～19時、懇親会：19時～21時）

会場：皆生グランドホテル天水「グランドパレス」

参加者：日本サウナ学会会員及び一般参加者 約120名

内容：（1）開会

【主催者挨拶】日本サウナ学会代表理事 加藤 容崇

【来賓挨拶】衆議院議員 赤沢 亮正、米子市長 伊木 隆司

（2）基調パネルセッション

セッション①「サウナジャーナリズムの在り方と危機管理」～サウナって危なくないの？～

【登壇者】テニスプレイヤー 伊達 公子、JAPAN SAUNA-BU ALLIANCE 共同代表 川田 直樹ほか2名
セッション②「サウナとメンタルケア」～精神科医と語るサウナの影響～

【登壇者】日本サウナ学会代表理事 加藤 容崇、鳥取大学医学部助教授 三浦 明彦ほか1名
セッション③「サウナ関連法整備の方向性」～これからのサウナ振興に向けて～

【登壇者】日本サウナ学会代表理事 加藤 容崇、衆議院議員 加藤 勝信、衆議院議員 荒井 優
鳥取県知事 平井 伸治

（3）日本サウナ学会研究奨励賞発表、記念講演

（4）懇親会

【主催者挨拶】鳥取県知事 平井 伸治

【来賓挨拶】衆議院議員 加藤 勝信、フィンランド大使館一等書記官 ニーナ ヴァイサネン

参加者からの感想

- ・パネルセッションでの議論など、サウナを多面的に捉え、これからのサウナの可能性を検討していくきっかけとなるとても熱量の高い総会だった。
- ・前回の総会からさらにバージョンアップし、中身が濃く学びの多い時間だった。懇親会をはじめ、鳥取県のおもてなしが十分に伝わってきて非常に満足だった。

【「ととのうとっとり」サウナフェスの概要】

開催日：令和5年11月25日（土）・26日（日）（開催時間：10時～17時）

会場：皆生海浜公園（米子市皆生温泉4丁目20）

来場者数：2日間で約1,000名

内容：○サ飯エリア …食パラダイス鳥取県ならではのご当地メニューを提供

○展示体験エリア…フィンランドPRブース、テントサウナ体験やモルック体験などサウナ初心者やサウナに入らない方にも楽しんでもらえるコーナーを設置

○サウナエリア …県内で稼働する3種類のオリジナルサウナとテントサウナを設置（有料）

参加者からの感想

- ・ここまで多くの種類のサウナが揃うイベントは珍しい。楽しみながら「ととのう」ことができた。
- ・テントサウナ体験で初めてサウナに入ったが、ぽかぽかして気持ちよかった。



日本サウナ学会総会の様子



フィンランド大使館 ニーナ ヴァイサネン一等書記官



「ととのうとっとり」サウナフェス

国際航空路線の最近の動きについて

令和5年11月30日
国際観光・万博課

県内空港における国際航空路線の最近の動きを次のとおり報告します。

1 米子ソウル便

米子ソウル便は、10月25日に約4年ぶりに運航再開し、初便のインバウンド搭乗率が100%になるなど好調なスタートを切りました。

11月以降の予約状況も好調に推移しており、韓国でのプロモーションを強化し、引き続きエアソウルや旅行会社への働きかけていくことで米子ソウル便のデイリー化を目指します。

【2023年10月利用実績（エアソウル米子支店提供）】

提供座席数	総搭乗者数	韓国人搭乗者数	日本人搭乗者数	搭乗率
1,170席	1,048人	688人	349人	89.6%



運航再開セレモニーの様子

【今後の主なプロモーション】

〔インバウンド対策〕

- ・旅行専門のYouTuber（フォロワー数：54.1万人）を招聘し、女子旅をキーワードとした県内取材を実施
- ・エアソウルのキャビンアテンダントを招聘し、若年者層向けに二次交通やレンタカーを利用した鳥取旅の動画を作成し、エアソウルのHPで発信。

〔アウトバウンド対策〕

- ・パスポート取得費支援やグループ旅行支援などの搭乗者支援の情報発信強化
- ・地元メディアを活用した特集記事や番組等の制作支援
- ・民間交流団の相互往来やビジネス交流の働きかけの実施

2 米子香港便

米子香港便は、12月18日から2月26日まで週4日で定期便が運航します。

就航当初の予約状況は、72.6%（初便～クリスマス（12/25）までの香港発）であり、引き続き、インバウンド・アウトバウンド向けのプロモーションを強化し、通年で運航いただくよう航空会社や旅行会社に働きかけます。

（1）区間：香港国際空港－米子鬼太郎空港

（2）期間：12月18日（月）～2月26日（月）週4日（月・水・金・日）41往復

（3）航空会社・機材：香港航空、A320-200（座席数174席）

【今後の主なプロモーション】

〔インバウンド対策〕

- ・便の着発に合わせた空港リムジンバスの運行
- ・香港航空と連携した「運航再開キャンペーン」の実施（12月）
- ・インフルエンサー招聘、香港航空SNS等での情報発信強化（12月）
- ・オンライン上の旅行会社（OTA）と連携したお得な旅行商品造成（12月）ほか

〔アウトバウンド対策〕

- ・パスポート取得費支援やグループ旅行支援などの搭乗者支援の情報発信強化
- ・旅行会社への香港・マカオ旅行商品造成働きかけ、地元メディアと連携した情報発信強化
- ・香港政府観光局と連携した香港の魅力発信の充実、香港空港乗継によるビジネス利用の拡大ほか

3 台湾チャーター便

10月28日から鳥取砂丘コナン空港と台北桃園空港を結ぶ連続チャーター便が3往復運航され、初便到着時にはコナンの着ぐるみや県、鳥取市、空の駅女子会など空港関係者で歓迎を行いました。

チャーター便就航の実績を積み上げることで台湾からの定期便就航を目指します。

※鳥取砂丘コナン空港へはコロナ後初となるチャーター便就航です。（2019（令和元）年秋季に鳥取砂丘コナン空港で37往復チャーター便が就航して以来となります。）

【チャーター便概要】

（1）区間：台湾・桃園（とうえん）国際空港－鳥取砂丘コナン空港

（2）日にち：10月28日、11月1日、5日

※お客様は10月28日と11月1日の便のみ搭乗。

（3）便数：3往復 ※インバウンド専用チャーター

（4）航空会社・機材：チャイナエアライン、B737-800（座席数158席）

（5）主催旅行社：台湾鳳凰（フェニックス）旅行社

（6）搭乗実績（全体搭乗率95.9%）

10/28：158名（搭乗率100%）、11/1：145名（搭乗率91.7%）



台湾チャーター便歓迎の様子

韓国江原特別自治道との交流状況について

令和5年11月30日
交流推進課

韓国江原特別自治道に県民派遣促進訪韓団の派遣を行うとともに、両県道知事による面談を行いましたので次のとおり報告します。

1 県民派遣促進訪韓団

10月25日の米子ソウル便再開にあわせ、民間団体等による県民派遣促進訪韓団を結成し、米子ソウル便初便により江原特別自治道等を訪問、「鳥取県と江原特別自治道の友好提携30周年に向けた人的交流加速化に係る要望書」を手交するなど、往来を伴う人的交流加速化の働きかけを行った。

(1) 訪韓日程 令和5年10月25日(水)から27日(金)

(2) 訪韓団 8名

鳥取県日韓親善協会連合会 藤井会長、鳥取県西部地区日韓親善協会 杉原会長、県、報道関係者ほか

(3) 鄭経済副知事表敬訪問

江原特別自治道庁に鄭経済副知事を訪問し、米子ソウル便再開の報告と、両県道の友好提携30周年に向けた人的交流加速化の働きかけを行った。

ア 日時 令和5年10月26日(木) 午前11時30分から正午まで

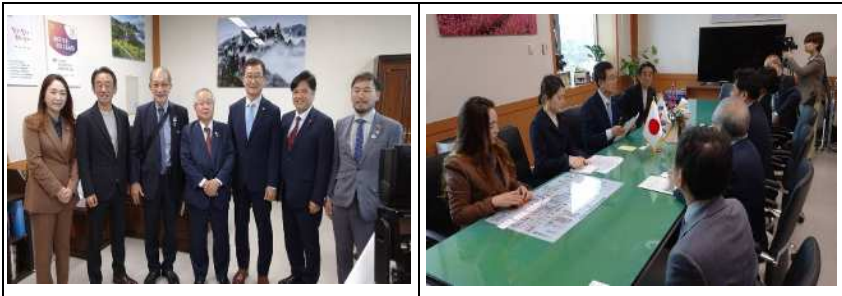
イ 場所 江原特別自治道庁 会議室

ウ 参加者 県民派遣促進訪韓団、鄭光烈(チョン・グァンヨル) 経済副知事ほか

エ 鄭経済副知事コメント

- ・米子ソウル便が再開し、また来年の友好提携30周年に向けて両県道の交流が益々活発になっていく。
- ・民間交流は重要で、カウンターパートになる民間交流団体設立の協議を進めていく。

<表敬訪問の様子>



左：杉原弘一郎鳥取県西部地区日韓親善協会会長(左から3番目)、藤井喜臣鳥取県日韓親善協会連合会長(左から4番目)ほかと写真を撮る鄭光烈(チョン・グァンヨル) 経済副知事(左から5番目)

(4) 江原経済団体連合会等との交流協議

鳥取県県民派遣促進訪韓団が「鳥取県と江原特別自治道の友好提携30周年に向けた人的交流加速化に係る要望書」を江原特別自治道及び江原経済団体連合会に手交。あわせて両県道の民間団体同士の交流の受け皿となる新たなカウンターパート団体の設立を要望した。

ア 日時 令和5年10月26日(木) 午後4時15分から午後5時半まで

イ 場所 江原特別自治道 春川市内

ウ 参加者 県民派遣促進訪韓団、江原特別自治道庁、江原経済団体連合会

エ 江原経済団体連合会コメント

- ・両県道が協力し、交流していくことが経済の発展にもつながる。
- ・道民一人ひとりが交流を進めていくことが大事。

<交流協議の様子>



左：李琴仙（イ・グムソン）江原経済団体連合会長（左から5番目）に要望書を手交する藤井喜臣鳥取県日韓親善協会連合会長（左から3番目）

2 鳥取県江原特別自治道両県道知事面談

- (1) 日 時 令和5年11月2日（木） 午後5時から午後5時15分まで
- (2) 場 所 都道府県会館内会議室（東京都千代田区）
- (3) 面 談 者 鳥取県 平井知事ほか
江原特別自治道 金鎮台（キム・ジンテ）知事、崔琪鎔（チュ・ギヨン）経済局長ほか
- (4) 内 容 両県道友好提携30周年に向けた更なる活発な相互交流の確認等
- (5) 主なコメント

○平井知事

- ・来年迎える両県道友好提携30周年に向けて、シャトルのように活発に行き来したい。
- ・米子市と東草（ソクチョ）市、智頭町と楊口（ヤング）郡、八頭町と横城（フェンソン）郡、琴浦町と麟蹄（インジュ）郡、大山町と襄陽（ヤンヤン）郡など、県内市町村と江原特別自治道市郡の交流も益々盛んになってきている。
- ・令和6年1月に平昌（ピョンチャン）郡等で開催される江原冬季ジュニアオリンピックの成功も祈っている。
- ・10月25日米子ソウル便再就航にあたり、幹部職員にお越しいただき、感謝。
- ・就航再開記念行事では、金知事の素晴らしい日本語のビデオメッセージもいただいた。会場の方々が金知事の上手な日本語に驚いていた。

○金知事

- ・11月1日に山梨県で開催された日韓知事会議が成功して嬉しい。鳥取県平井知事の発表も素晴らしかった。
- ・空の道に続いて、海の道も再開を検討していきたい。心の道はもう開いている。
- ・岸田総理に対し、平井前全国知事会長のリーダーシップのおかげで、日韓知事会議が再開し、無事終了したと報告した。併せて、鳥取県との交流についても報告した。
- ・今後、青少年やスポーツなど、30周年に向けて様々な分野で両地域の交流を更に拡大していきたい。

<面談の様子>



左：江原特別自治道 金鎮台（キム・ジンテ）知事（左から3番目）

米国バーモント州との姉妹提携5周年記念行事及び「食パラダイス鳥取県 in NY」の開催等

令和5年11月30日
交流推進課
国際観光・万博課
販路拡大・輸出促進課

米国バーモント州とは平成16年から民間交流が進められ、平成20年に鳥取県との間で「国際親善に関する覚書」を締結し、青少年、教育及び文化等の分野で交流を行ってきました。覚書締結から10周年である平成30年には「姉妹提携協定書」を締結し、更に両地域の絆を深めていくこととしました。

今年は姉妹提携から5周年を迎え、本県から平井知事がバーモント州で開催された記念式典等へ出席しました。併せて、平井知事はニューヨークで米国トッププロモーション「食パラダイス鳥取県 in NY」を実施しました。

今後も引き続きバーモント州との交流を進めるとともに、米国内での鳥取県の魅力発信と観光客誘致を進めます。

1 米国バーモント州との姉妹提携5周年記念行事

(1) 鳥取県とバーモント州との姉妹提携5周年式典

ア 日時 令和5年10月18日(水) 午後4時45分から午後5時15分まで(現地時間)

イ 場所 バーモント州知事式典室(バーモント州モンピリア市)

ウ 出席者 平井伸治知事、鈴木光太郎在ボストン総領事ほか

フィル・スコットバーモント州知事、スーザン・マーレイ連邦商業省バーモント局長ほか

エ 内容

- ・両知事から、5年間の交流により青少年交流、高校・大学の交流、文化交流など、姉妹提携による交流促進の意義について評価する発言がなされた。特に、コロナ禍においても高校生によるオンライン交流が実施され、今回コロナ後初めて対面での高校交流が本格再開されたことを契機として、今後とも対面とオンラインを併用しながら青少年の育成を支援することを確認した。
- ・今年は7月にバーモント州、8月に鳥取県において大規模な水害が発生したことを共に乗り越えていく決意を両知事で共有した。また、世界的な猛威を振るった新型コロナウイルスにおいてお互いの県州が両国内で最も感染を抑え死者数を少なくできたことで評価を受けるなど、人口規模が少ない地域であっても効果的な行政を行えることを確認し、子育て施策、産業振興、人口減少対策についても幅広く意見交換を行った。



左：フィル・スコット知事と会談する平井知事
右：フィル・スコット知事(知事の右)と鈴木在ボストン日本国総領事(知事の左)ほかと写真を撮る平井知事

(2) 鳥取県とバーモント州との姉妹提携5周年レセプション

ア 日時 令和5年10月18日(水) 午後6時から午後8時まで(現地時間)

イ 場所 エセックス・リゾート&スパ(バーモント州エセックス)

ウ 出席者 平井伸治知事、鈴木在ボストン日本国総領事、日米青少年交流団関係者(鳥取県高校生)、文化芸術交流関係者ほか

ピーター・リンチ GATW (Gross Across The World) 代表、ジム・ダグラス元バーモント州知事、ルース・ハーディ同州上院議員、ミロ・ワインバーガーバーリントン市長、現地学校関係者ほか 約120人 ※GATW(バーモント州における主要な交流実施団体)

エ 内容

- ・これまでの交流関係者が一堂に会する場において、バーモント州との姉妹提携5周年を迎えたことを祝うとともに、平井知事やリンチ GATW 代表、ダグラス元知事、ハーディ上院議員、ワインバーガー市長などから、交流発展に向けたスピーチが続き、参加者同士で今後の交流促進を誓った。
- ・バーモント州側の参加者の多くは、大山や日本海の美しさ、砂丘、食の魅力などについて強い関心を寄せ、多くの方から、ぜひ鳥取県へ行ってみたいとの声が聞かれた。



左：リンチ代表(左端)、ジム・ダグラス元州知事(左から2番目)ほかと写真を撮る平井知事
右：日米青少年交流団と歓談する平井知事

2 「食パラダイス鳥取県 in NY」(とっとりの酒と食、観光・自然の魅力発信)の開催

- (1) 日 時 令和5年10月20日(金)午後6時30分から午後8時30分まで(現地時間)
- (2) 場 所 在ニューヨーク日本国総領事公邸
- (3) 出席者 平井伸治知事、森美樹夫 在ニューヨーク総領事(大使)ほか、現地メディア、飲食・販売代理店、観光事業者、公的機関など 合計約80名が参加
- (4) プロモーション概要

鳥取県と在ニューヨーク総領事館が、総領事公邸を会場として、現地マスコミ、飲食店関係者、旅行関係者、団体等を招聘し、県産日本酒のプレゼンテーションとともに、県産食材を利用した料理の提供や本県の観光情報等の魅力発信を行った。

[県産品プロモーション]

- ・県産酒プレゼンテーション及び試飲提供(ニューヨークで流通する5蔵)、県産酒と二十世紀梨ティーや生姜シロップ等を使用した鳥取オリジナルカクテル提供。
- ・サーモン、アジ、星空舞など県産食材を使用した寿司及び料理の提供。
- ・因州和紙、弓浜緋、陶磁器、淀江傘、郷土玩具など民芸品の展示紹介

[観光プロモーション]

- ・県観光プレゼンテーション
- ・VR体験コーナーの設置、観光ポスター、パンフレット等の配架

(5) 内 容

- ・来場者の多くは初めて鳥取県の食材に触れる機会となったが、「美味しい」との言葉と共に、使用した食材を含め、鳥取の食材を使いたいとの声が多く聞かれた。
- ・VR体験をした方からは、「鳥取を旅しているみたい!」という感動の声が多く聞かれた。特に鳥取砂丘の映像は空や海などの広大さを感じられるため、臨場感が感じられると好評だった。
- ・予想を上回る80人に出席いただき、森大使も「これまでにない盛況」と絶賛された。
- ・取材いただいた、日系や米系メディアから「今回のイベントのような、リアル鳥取をPRすれば、ニューヨークの人たちは、もっと鳥取に来る」とのコメントをいただいた。



「食パラダイス鳥取県 in NY」の様子

3 経済関係団体・企業への訪問

- (1) 日 時 令和5年10月20日(金)午前10時から午後4時30分まで(現地時間)
- (2) 場 所 ニューヨーク市内
- (3) 訪問先 日本政府観光局(JNTO)ニューヨーク事務所、日本貿易振興機構(JETRO)ニューヨーク事務所、全日本空輸(株)(ANA)ニューヨーク支店、エイチ・アイ・エス(HIS)ニューヨーク支店
- (4) 内 容

- ・米国市場情勢、最新訪日旅行動向、米国政治・経済の動向及び米国の消費ニーズ等を情報収集した。
- ・JNTOでは、ニューヨークで開催される国際観光旅行見本市やアニメ関連イベントで鳥取県の観光情報提供を行っていただくなど、今後北米からの誘客に向けて連携することで合意した。
- ・JETROでは、鳥取県から米国へは日本酒やウイスキー、水産加工品等が輸出されているが、鳥取県産品の更なる販路開拓に向けた協力を依頼し、了解を得た。
- ・ANAでは、日本食が米国で流行していることから、鳥取県の食の魅力の情報発信に協力いただくと共に、観光消費額の高い旅客も含め誘客に向けて連携していくことを確認した。
- ・HISでは、平井知事から、鳥取県と同社とのインバウンド観光推進に関する協定(令和元年に締結)に基づき、鳥取県の外国人観光客誘致への協力を感謝するとともに、ニューヨークでの観光情報発信や鳥取県への送客などへの協力を働きかけた。また、学生団体の鳥取県への旅行誘致や、インフルエンサー等による情報発信など、連携したプロモーションを実施することで合意した。



JNTO ニューヨーク事務所：
山田所長との面談の様子



JETRO ニューヨーク事務所：
三浦所長との面談の様子



ANA ニューヨーク支店：
野村支店長との面談の様子



HIS ニューヨーク支店：
菅根支店長との面談の様子

イスラエルから避難された御家族の状況等について

令和5年11月30日
交 流 推 進 課

令和5年10月7日から激化しているイスラエル・パレスチナ武力衝突の影響により、鳥取県出身者2名が県内へ御家族と共に避難されました。現在は生活の安定に向け、関係市町村、学校及び国際交流財団等の関係機関と連携をとりながら全庁横断で支援を行っており、今後も本人や御家族の意向を確認しながら支援を継続していきます。

1 支援の状況

(1) イスラエル関連情報連絡会議等の設置

- ・ 緊迫しているイスラエル情勢に係る情報共有及び県の対応等の確認を目的とした「イスラエル関連情報連絡会議」を令和5年10月14日午後10時に設置
第1回：10月14日、第2回：10月18日開催
- ・ 併せて、「イスラエル在留本県関係者相談窓口」を開設し、避難希望者や家族等からの相談受けを開始

(2) 救援金の受付

- 10月23日から「イスラエル・ガザ人道危機救援金」の受付を開始
- ・ 県庁、総合事務所等8か所に募金箱を設置（～令和6年1月31日予定）
 - ・ 日本赤十字社を通じて、人道危機対応、避難民救援活動支援に使用

(3) イスラエル在住本県関係者の受入支援体制の整備

- 「イスラエル在住本県関係者受入支援WG」の設置
- ・ 庁内に部局横断のWGを設置し、具体的な支援内容を検討
 - ・ 避難される方の実情や政府の方針等に応じ、市町村や鳥取県国際交流財団等の関係機関と連携し機動的に支援実施

2 本県関係者の状況

名前	年齢	出身	帰国の意思	備考
アミエル 正子 (まさこ)	60代	鳥取市	無し	危険な状況になった場合は、鳥取に帰りたい
末広 亮 (すえひろ りょう) 氏	40代	神戸市	無し	※とっとりふるさと大使（平成20年10月委嘱）
A 氏	非公開	鳥取県	帰国済み	支援対応中
B 氏	非公開	鳥取県	帰国済み	支援対応中

※本人のご意向により詳細情報は非公開

ジャマイカ選手団のキャンプ実施に係る覚書締結及び同国との交流協議について

令和5年11月30日
スポーツ課
交流推進課

コロナ禍で中断したジャマイカとの対面交流を再始動するため、11月12日～19日の日程で同国にて協議を行いました。本県と鳥取陸上競技協会、ジャマイカ陸上競技連盟の三者で2025年の世界陸上東京大会におけるジャマイカ選手団の事前キャンプ鳥取実施に係る覚書を締結しました。

また、姉妹提携先のウェストモアランド県（以下「ウ県」と）と、コロナ禍で中断していた往来による青少年交流再開について合意するなど、同国関係機関との間で今後の交流発展に係る協議を行いました。

1 2025 世界陸上東京大会事前キャンプに係る覚書締結式

(1) 日時：令和5年11月15日(水)午前10時から11時まで
(現地時間)

(2) 場所：ジャマイカ陸連事務所（キングストン）

(3) 列席者：浜崎晋一 鳥取陸上競技協会会長（鳥取県議会議長、
鳥取ジャマイカ友好議員連盟会長）ほか

ガス・ゲイル／ジャマイカ陸上競技連盟会長

渥美恭弘／在ジャマイカ日本国特命全権大使

デンゼル・スロープ／文化・ジェンダー・娯楽・スポーツ省次官

(4) 現地報道：TV Jamaica、CVM（二大民放局）、Jamaica Observer（主要紙）、IRIE FM（ラジオ局）

(5) 覚書骨子：①鳥取県、鳥取陸上競技協会、ジャマイカ陸上競技連盟の三者は2025世界陸上東京大会
に出場するジャマイカ代表選手団の本県での事前キャンプ実施に向け準備を進める。

②鳥取県民と代表選手団との交流を推進する。

③三者が今後緊密に連携し、事前キャンプ実施に係る具体的な協定締結に向け努める。

(6) 主な発言：（浜崎会長）この覚書を基に、鳥取でキャンプ受入れの準備を進める。来年の布勢スプリントにもゲイル会長をお招きし、そこで具体的な協定を結べるよう努力したい。

（ゲイル会長）鳥取県には大変感謝している。鳥取県は私たちとともに歩み、長年にわたりジャマイカチームに素晴らしいキャンプ施設を提供し、サポートしてくれた。

2025年に向け（鳥取で）準備することを楽しみにしている。



TV Jamaica でのニュース
同国内主要メディアで報じられた。

2 ウェストモアランド県との協議

(1) 日時：令和5年11月14日(火)午前10時から12時まで
(現地時間)

(2) 場所：ウ県庁舎（サバンナ・ラ・マール）

(3) 面会者：バーテル・モーア／ウ県知事

マーヴァリン・ピッター／〃 CEO

マーシーン・B.ジャクソン／〃 財務部長

ジーン・P. ブラウン／NEET*代表

デニス・ホーソーン／〃 スポンサー（ほか）

※NEET（ネグリル教育環境財団）… 青少年交流におけるウ県側生徒派遣の主体となる団体

(4) 協議概要：○鳥取・ウェストモアランド両県の交流を今後も発展させる方向で双方一致。

○2019年以降、コロナ禍で中断していた往来による青少年交流（相互派遣）再開について大筋合意した。来年度は本県から派遣、2025年はジャマイカから本県への派遣を目指すこととした。

○ジャマイカの大阪・関西万博参加を契機とした更なる青少年等の交流について、ウ県
の了解を得た。



ウ県、NEET 幹部と

3 その他訪問先

- ・ JICA ジャマイカ事務所
- ・ レゲエマラソン大会事務局
- ・ 西インド諸島大学（現代言語学・外国語学部日本語学科）

「スーパーはくと名探偵コナン号」の運行開始について

令和5年11月30日
交通政策課
まんが王国官房

漫画家 青山剛昌氏のふるさとである鳥取県と京阪神を結ぶ特急スーパーはくと号。その1編成を青山剛昌氏の代表作のひとつ「名探偵コナン」のキャラクターで装飾し、12月3日（日）から運行を開始します。また、運行開始に合わせて、倉吉駅及び大阪駅での出発式を行います。

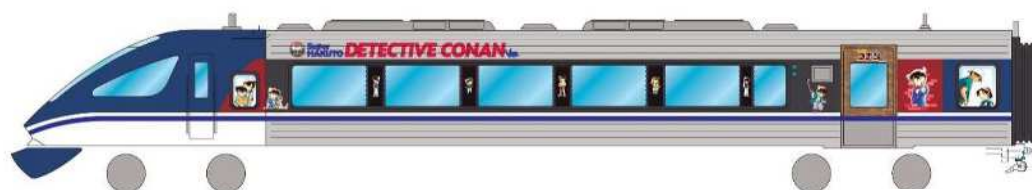
1 スーパーはくと名探偵コナン号の概要

京阪神と鳥取・倉吉を直接結んでいる「特急スーパーはくと」の1編成の内外装を「名探偵コナン」のキャラクターで装飾します。令和7年春に県立美術館開館、令和9年に青山剛昌ふるさと館の移転新築等が予定されているところ、令和7年の大阪・関西万博を好機に一層の観光誘客を図ります。



2 スーパーはくと名探偵コナン号の特徴

ヘッドマーク ©青山剛昌/小学館



外装 ©青山剛昌/小学館

- (1) 車体に様々なコナンキャラクターを配置することで旅の楽しさを演出します。
- (2) 外装だけでなく、内装にも凝っており、客車の床面、枕カバーやロールカーテン、デッキにもコナン君とその仲間たちをデザインしています。

3 出発式概要

12月3日の運行開始に合わせ、午前9時30分からJR倉吉駅で、午後3時からJR大阪駅で出発式を行います。

(1) 倉吉駅での出発式

- ア 日時 12月3日（日）午前9時30分から10時15分頃
- イ 場所 JR倉吉駅1番のりば
- ウ 主催 智頭急行株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、鳥取県
- エ 内容 関係者による車両見学、主催者・来賓あいさつ、テープカット・記念撮影等



ロールカーテン ©青山剛昌/小学館

(2) 大阪駅での出発式

- ア 日時 12月3日（日）午後3時から3時30分頃
- イ 場所 JR大阪駅3番のりば
- ウ 主催 智頭急行株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、鳥取県
- エ 内容 主催者・来賓あいさつ、記念撮影等

調布市「ゲゲゲ忌」における情報発信について

令和5年11月30日
まんが王国官房

水木しげる先生の命日に調布市が開催する「ゲゲゲ忌」において、境港市等と連携してまんが王国とつとりと観光の魅力発信を行いました。

1 調布市役所前庭での催し

11月25日(土)、26日(日)午前11時から午後4時まで、着ぐるみグリーティングほかステージイベント、各出展者によるグッズ販売、飲食提供等を実施

(1) 特設ステージ上での鳥取県紹介

- 実施時間 1日当たり2回(1回30分程度)
内 容 ・鳥取県の観光物産PR、「水木しげる生誕祭」概要の発表
・平井知事による鳥取県の紹介(26日午前のみ)
・着ぐるみステージ

(2) 鳥取県PRブースの設営

- 内 容 ・鳥取県特産品の販売(鳥取県物産協会)
・「星空舞」PR(食パラダイス推進課)
・かに汁の提供(境港市)

2 鳥取県PR展示

- 実施日 11月17日(金)から30日(木)まで
会 場 調布市文化会館たづくり 1階エントランスステージ
内 容 バナー・ポスター展示、チラシ配架、観光動画映写
そ の 他 主催者による献花台の設置等

3 アニメ特別上映会での観光PRの実施

- 実施日 11月23日(木・祝)、25日(土)、26日(日)
会 場 イオンシネマ シアタス調布(調布市)
実施時間 午後6時から8時まで
内 容 ・アニメ映画の上映
・鳥取県の観光PR、「水木しげる生誕祭」概要の発表
・出演声優・スタッフによるトークショー
そ の 他 ・収容人数 200人程度
・料 金 有料
(大人5,000千円(23日(木・祝)は3,500千円)、中学生以下1,500円)
・上映内容
「墓場鬼太郎」、「劇場版 ゲゲゲの鬼太郎 日本爆裂!!」、「ゲゲゲの鬼太郎(第6期)」

(参考)「ゲゲゲ忌」全体概要

- 開催期間 11月17日(金)から11月30日(木)まで
会 場 調布市役所前庭、調布市文化会館たづくり、イオンシネマ シアタス調布
主 催 調布市(協力:水木プロダクション、東映アニメーション等)